

循環器画像技術研究会

NTT 東日本関東病院 福地 達夫

1、はじめに

循環器画像技術研究会は、年間10回の定例会を開催し、その他に8月にサマーフレッシュセミナー、9月に循環器被ばく低減技術セミナーを開催しています。主なプログラムは、各施設の症例を検討するテクニカルディスカッション、医師講演、循環器系を中心とした教育講演、ショートレクチャーなどです。

今期より、会長に若松修(NTT 東日本関東病院) 副会長として景山貴洋(千葉県循環器病センター) 加藤京一(昭和大学藤が丘病院) 増田和浩(埼玉県立小児医療センター) が就任されました。研究会は、学術、企画、教育および編集委員会により構成され、学術委員会の下に数々のワーキンググループが活動しております。

2、活動報告(2005年)

(1) 定例会

開催回数は10回、テクニカルディスカッション10回、その他、医師講演、技師講演、教育講演などを行っている。

(2) 循環器画像技術研究会誌、No21の発刊

(3) 第16回サマーフレッシュセミナーの開催

奥多摩御岳山にて30名の参加のもと1泊2日で行いました。

(4) 全国循環器撮影研究会主催のもとに「第8回 循環器被ばく低減技術セミナー」の開催

参加人数57名のもと講師に中川恵一先生(東京大学病院)を向かって「大量放射線被ばくの臨床と病理」でご講演をしていただきました。その他、「被ばく低減技術セミナー テキスト」を用いて講義を行いました。

(5) ワーキンググループの活動報告

血管検査室感染対策委員会(班長:塚本篤子 NTT 東日本関東病院)

現在、感染対策についての論文を投稿中です。



被ばく管理委員会(班長:加藤京一 昭和大学藤が丘病院) 全国循環器撮影研究会主催「第8回 循環器被ばく低減技術セミナー」を開催しました。

冠インターベンション時の透視時間に影響を及ぼす因子の調査班(班長:景山貴洋 千葉県循環器病センター)

循環器撮影実態調査班(班長:間山金太郎 石心会狭山病院)

アンケート調査を行い4月に放射線技術学会にて報告しました。年内の論文文化に向けてデータ分析を行っています。

FPD 調査班（班長：佐藤久弥 昭和大学横浜市北部病院）
各メーカーでの FPD 装置において被ばく低減委員会ファン
トムを用いて、画質評価などを行っています。

「IVR に伴う放射線皮膚障害の防止に関するガイドラ
イン」に沿った循環器 X 線撮影装置の線量実態測定班（班
長：西田直也 公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療
センター）

関東地域 25 施設においてガラス線量計を用いて IVR の
線量測定を実施しました。

CCT の「ポスターセッション」にて優秀演題に選ばれま
した。今後も各学会などで報告する予定です。

3、会員動向

現在の会員数は 287 名です。東京、神奈川、埼玉、千
葉、山梨の施設を中心に活動しています。

4、参加施設（平成 17 年 4 月から平成 17 年 9 月）

昭和大学藤が丘病院
昭和大学病院
NTT 東日本関東病院
石心会 狭山病院
公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター
昭和大学横浜市北部病院
医療法人社団東光会 戸田中央総合病院
千葉大学医学部附属病院
石心会 狭山総合クリニック
千葉県循環器病センター
東京慈恵会医科大学附属病院
医療法人社団明芳会 新葛飾ロイヤルクリニック
独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院
東邦大学医学部附属大橋病院
東京慈恵会医科大学附属病院
社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院
東邦大学医学部附属大森病院
山梨大学医学部附属病院
東海大学八王子病院
日本赤十字医療センター
横浜市立市民病院
公立福生病院
財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属病院神原記念病院

公立大学法人 横浜市立大学附属病院
埼玉県立小児医療センター
厚木市立病院
医療法人社団亮正会 総合高津中央病院
昭和大学歯科病院
石心会 川崎病院
医療法人社団明芳会 新葛飾病院
財団法人東京都保健医療公社 多摩南部地域病院
都立墨東病院
川崎市立川崎病院
社団法人 北里研究所 北里研究所病院
埼玉社会保険病院
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
医療法人社団桜友会 所沢ハートクリニック
千葉市立海浜病院
千葉県こども病院
浜松医科大学 医学部附属病院
東海大学医学部附属病院
浜松医科大学
国保松戸市立病院
東京臨海病院
国保松戸市立病院
川崎市立井田病院
株式会社 ウィン・インターナショナル
GE 横河メディカルシステム株式会社
フィリップスエレクトロニクスジャパン
ボストン・サイエンティフィック
フォトロン
東芝メディカルシステムズ
シーメンス旭メディテック株式会社
コダック株式会社
株式会社 島津製作所
フクダ電子

参加施設数 56 施設 延べ参加人数 289 名

5、最後に

循環器画像技術研究会は企画、教育担当のもと毎月厳選
したプログラムを提供しています。

その他、多くの委員会およびワーキンググループが活動し
ており、班長のもとに頑張っております。循環器に携われ
る方は是非、当研究会に一度足を運ばれて下さい。